「誰にでも楽しんでもらえる 対戦シューティング」を 実現させるために こだわったポイント

## 照準

自機から離れる最大距離を決め、 斜辺をとり半径を掛け算して決めています。 自機が動いても照準はついてきます。

```
float maxlen = 100.0f;//照準が自機から離れる最大距離 1
//auto-pPos1 = Player;
auto diffX = reti_. pos. x - pos_. x;//行った先から行った元
auto diffY = reti_.pos.y - pos_.y;
auto dis = hypotf(diffX, diffY); // 斜辺7
if (dis > maxlen) {
   //プレイヤーから照準への方向
   Vector2 diff = reti .pos;
   diff. x -= pos_. x;
   diff. y -= pos_. y;
   diff. x /= dis;
   diff.y /= dis;
   auto dirV3 = diff;
    // 方向に対して、円の半径を掛け算し、
    // プレイヤーからの移動量を取る(相対座標となる)
   Vector2 movePow =
       static_cast<int>(roundf(dirV3.x * maxlen)),
       static_cast<int>(roundf(dirV3.y * * maxlen))
     /・プレイヤー座標に移動量を加えて、
     照準の座標を更新する
   Vector2 newPos = pos_;
   newPos. x += movePow. x;
   newPos. y += movePow. y;
   reti .pos = newPos;
```

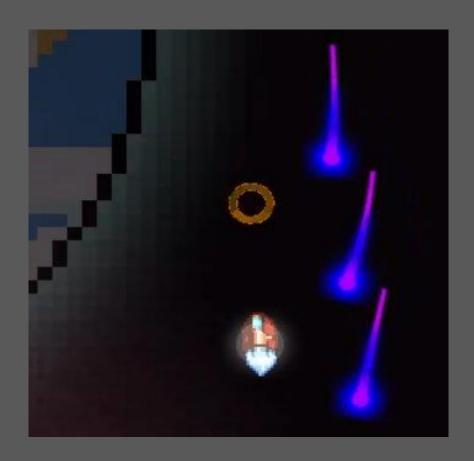


## ホーミング弾1/2

狙って撃つのが慣れない人でも楽しめて、慣れてくると戦略に使えるホーミング弾。

一定の時間はホーミングするようにしています。

```
//少しの間だけホーミングする
if (b. count <= 40)
{
    HomingPos (false);
    b. vel = (b. vel + (homingPos - b. pos). Normalized()). Normalized() ** 12. 0f;
    b. count++;
}
if (b. pos. x + 6 < 0 | | b. pos. x - 6 > 1024 | |
    b. pos. y - 6 < 0 | | b. pos. y - 6 > 768) {
    b. isActive = false;
    b. history. clear();
}
b. pos += b. vel;
```



## ホーミング弾2/2

弾の座標をhistoryとして 毎回 取っておき、一定数たまり次第 破棄しています

新しい順に太く古いものは細くしていき 軌跡を表現しています

```
float thickness = 5.0;
for (const auto& h : b.history) {
    DrawLineAA(pos.x, pos.y, h.x, h.y, 0xffffff, thickness);
    thickness *= 0.9;
    pos = h;
```

## 軌跡の表現

